

病態モデル動物を用いた 薬物動態試験

全ての研究・試験は、動物福祉の観点から「動物の愛護および管理に関する法律」および「実験動物の飼養および保管等に関する基準」に適合することを審査して確認しています。また、動物施設は動物の人道的な管理を推進するAAALACの国際的認証を取得しています。



各種病態モデル動物を用いた薬物動態試験の実施も可能です。
薬効薬理試験の受託において築いた病態モデル動物作成技術を活かしております。

BBB 損傷

- 動物：SD系ラット
- 作製：内頸動脈にカニューレを留置し、アラキドン酸ナトリウム溶液を急速注入投与する。
- 判定：「頸部の右傾斜」、「右旋回歩行」、「尾部持ち上げ時の右側への立ちあがり」

脳腫瘍

- 動物例：マウス BALB/CA Jcl-nu
- 移植細胞：ヒト膠芽腫由来細胞

担癌

- 移植細胞（例）
- マウス：ヒト結腸癌細胞
- ラット：ヒト胃癌細胞

腎不全

- 動物：SD系ラット
- 作製：5/6腎摘（左腎2/3を摘出後、7日目に右腎を全摘出）
- 判定：左腎摘出後21日に尿中総タンパク、血清及び尿中クレアチニン、尿素窒素を測定

心筋 梗塞

- 動物：SD系ラット
- 作製：左冠動脈を虚血し、左心室の体積の約40%に梗塞をかける（永久結紮、虚血再灌流モデル）

この他の病態モデル動物につきましても、お気軽にご相談ください。